

長期ステロイド使用と季節性悪化を経て治療を続けた成人アトピーの経過 (31 歳女性)

症例 ID：001-30-IR | 記録日：2014 年 9 月 27 日

1. 診断・治療前経過

生まれた時からアトピーがあり、湿疹が出たら薬を塗り、治ったら止める生活が続いていました。中学3年頃から顔にも薬を塗るようになりました。

高校受験後、顔が真っ赤に腫れ、黄色い汁が出て目が開かなくなる強い悪化を経験しました。その後もステロイドの内服・外用治療や入院治療を経験しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	中学期以降、顔を含む湿疹にステロイド外用薬を使用しました。ステロイド内服薬の使用歴もあります。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	小児期から成人期まで長期にわたる使用歴があります。
中止時期	24 歳 12 月に自己判断で中止し、その後松本医院を受診しました。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
小児期～中学期	来院前	湿疹が出るたび薬を塗る生活が続き、顔にも使用するようになりました。
高校受験後	来院前ピーク	顔が赤く腫れ、黄色い汁が出て目が開かない状態となりました。
24 歳 12 月末	来院前	ステロイドやプロトピックを止め、かゆみと赤みが一気に増しました。
25 歳 5 月	治療開始	松本医院を受診し、治療を開始しました。
治療開始約 1 か月	リバウンド期	顔が真っ赤になり、汁が出て固まり、二重が一重になるほど腫れました。
その後 3 年	経過中	毎年 1 月末から 5 月頃まで顔から首に症状が出る波がありましたが、夏には普通に近い肌へ戻る経過を繰り返しました。

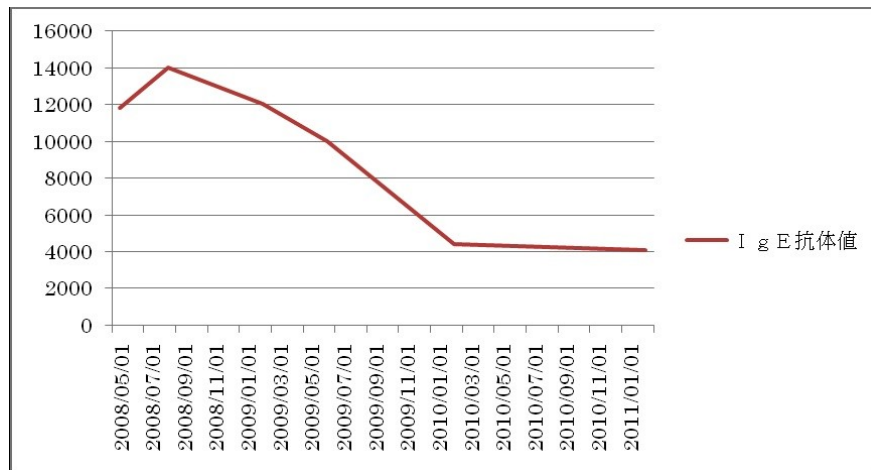
4. ピーク時期

ピークは、高校受験後の顔の腫れと浸出液の時期、および治療開始後約 1 か月の強い顔症状の時期です。

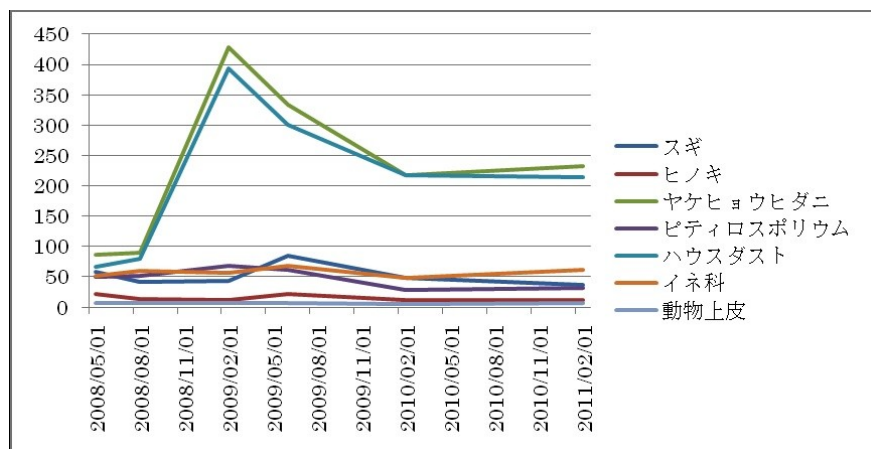
5. 困りごと

- 顔の症状が強く、学校生活や外出への負担がありました。
- 薬が効かなくなる不安と、再発への恐怖が長く続いていました。
- 季節によって顔から首に症状が出る波がありました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の画像記録。



経過中の画像記録。

7. 経過のまとめ

小児期から長く症状とステロイド使用が続き、顔の強い腫れや浸出液を複数回経験しました。25 歳で治療を開始し、約 1 か月は顔の赤み、浸出、腫れが強く出ました。

その後は毎年春先に顔から首へ症状が出る波はありましたが、夏には普通に近い肌へ戻るようになり、年々状態は普通に近づいていきました。症状には波がありましたが、通院経過の中で、日常生活への負担が少しずつ減っていく変化がみられた症例です。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。